



農子

○野あやめや小さき四万十沈下橋
苗移植畝に浸入む春の雨
祖父植えし材の再建長寿庵

初江

○青田消えセブンイレブン二号店
○母屋から風呂たく煙軒菖蒲
京成線堀切菖蒲園駅降る

富江

○青田道給食袋振りながら
青田道同級生がふる里で
黄のあやめ続くこの道舟溜り

美貴

○街角のとある花屋の花あやめ
青田はやジャンボタニシの国の如
夏マスク自由にせよと言はれても

丞子

○カーネーション母に届けて子に貰ふ
工場と化し青田の風光ひと握り
清濁を併せ四万十花菖蒲

瑞枝

○新卒の教師囃す子若葉風
ふる里は揺りかごに似て青田波
平安の女御さながら花菖蒲



千代

○水面はや暮色に染まり菖蒲園
重さうな通勤靴青田風
蔵町の漆喰眩し夏始

とも

○田んぼの子ズボツと抜けし足に蛭
代掻き後川で水浴び牛と子と
赤牛や蠅にバシツと尾っぱ振る

文子

○花菖蒲活け遠来の客を待つ
段々のほんの小さき田青田風
琵琶湖畔松風涼し浮御堂

酔花

○キャベツはぐ抱きし時を解き放つ
玄関に置きしままなり遍路杖
夕暮れのバラも傾げて人疲れ

えり

棚田継ぐ余所者今は青田風
花菖蒲磨ぎし鉢にまよひなし
それぞれの蛍袋の憩ひかな

志津子

○捕まえて見よと一陣青田風
夏椿落ちて白さを失わず
校庭で遊ぶ声聞く花檣

富子

青田揺れ分蘖の兆し風抜ける
男子なく菖蒲湯由来知らぬまま
ひっそりと十葉匂うジャズ喫茶

千代

○水面はや暮色に染まり菖蒲園
重さうな通勤靴青田風
蔵町の漆喰眩し夏始

とも

○田んぼの子ズボツと抜けし足に蛭
代掻き後川で水浴び牛と子と
赤牛や蠅にバシツと尾っぱ振る

文子

○花菖蒲活け遠来の客を待つ
段々のほんの小さき田青田風
琵琶湖畔松風涼し浮御堂

味元 昭次 作品

少年の声変りして青田道
青田青空青野青梅青二才
雨降るやあやめの岸に祖霊佇つ
恋敵あやめの池に傘さして
Gセブンとやら青田の辺に来ない

★次回市民句会

【開催日時】

令和五年六月二十八日(水)
午後一時十五分〜午後四時(予定)

【場所】

オーテピア4階 研修室
どなたでも自由にご参加いただけます

